

今年の1月4日に、Scotland の James Hutton Institute のホームページに下記のような記事が投稿されました。

<http://www.scotsman.com/news/willie-towers-digging-in-for-soil-s-important-role-1-3991391>

非常に大切なことを述べていると思いましたが、その記事の最初の部分を和訳しました。また、量的にばかりでなく、人間の健康に必要な養分を過不足なく含む食料を生産するうえで、土の状態を健全に保つことが必要であることを示した YouTube の動画も紹介されていまして、そのアドレスも引用しておきます。

また、国際土壌科学連合(IUSS)は、2015年の国際土壌年の終了後も、2024年まで「国際土壌年間 International Decades of Soils」として、土に関する啓蒙活動を続けていくことになりました。

土は有限で再生不可能な資源である。

Willie Towers, January 4, 2016

James Hutton Institute, Scotland

土は「有限」で「再生不可能」な資源です。しかし、世界を通じて、土はそれにふさわしい尊敬を受けていません。

第68回国連総会で、2015年を「国際土壌年」とすることが宣言されました。

それは、土が食料の安全にとって、また生態系にとって不可欠な機能として、健康で安定な土壌が必要であることを、世界の人々に呼びかけ、理解をしてもらうためでした。

土はしばしば様々な環境の構成要素のなかでも、つい忘れられてしまいがちです。それは、一般の人々ばかりでなく、重要な政策にかかわる政治家においても言えることです。

土は「有限」で「再生不可能」な資源です。世界の食料の90%は土を通じて得られます。それなのに、私たちは土を尊敬して扱っているでしょうか？答えは「NO」です。

世界の土壌の3分の1は劣化し続けています。そして、人口が急増し、気候変動が著しい現代の世界では、土はより高い意識をもって認識し、社会によって守られなくてはなりません。土は作物や草木に隠れて、1年間を通じて直接見ることはできませんが、大切なものなのです。

土壌劣化や食料と土壌の関連に対する人々の認識はまだ低くとどまっています。

「国際土壌年」は2015年12月5日で一応終了し、2016年は「国際豆年」となりました。しかし、「土」の重要性は変わらないので、IUSS（国際土壌科学連合）は、2024年までの10年間を「国際土壌年間」、”International Decade of Soils”として、世界の人々への注意喚起と教育を続けていくことになりました。

Soil: An essential ingredient to healthy food and nutrition

<https://www.youtube.com/watch?v=2olJ5zR4IGQ>